

第1回 次期一般廃棄物処理施設用地選定検討委員会
議 事 要 旨

日時	令和5年10月30日 14:00～15:30	場所	雲南市役所5階委員会室
出席者	委員	11人（名称非公表）	
	事務局	雲南市市民環境部長 雲南市市民環境部新ごみ処理施設整備準備室	
	業務支援事業者	東和テクノロジー	
欠席者	委員	1人（名称非公表）	
協議内容		協議結果・指示事項等	
1. あいさつ		市民環境部長から開会あいさつ	
2. 委嘱状の交付		委員への委嘱状交付。その後、参加者全員で自己紹介	
3. 検討委員会について		事務局より 資料1「次期一般廃棄物処理施設用地選定検討委員会設置要綱」及び資料2「検討スケジュール」について説明	
4. 委員長・副委員長の選出		事務局より 事務局案を提示、委員一同が承認（委員長、副委員長名は非公表）	
5. 議事 (1) 情報提供		東和テクノロジーより 資料3「一般廃棄物処理施設の特徴」について説明 【質疑】 ①資料2頁の排出基準適用表について、留意すべき項目はこれだけでしょうか。 ②施設の処理方式等がまだ決まっていないようだが、決定に伴い用地の必要面積が変わってくることはあるのでしょうか。 ③近年、クローズド最終処分場を設置する例も増えてきているかと思いますが、どのくらいの割合になっているのでしょうか。 【回答】 ①お示ししたものは大気汚染防止法での基準です。他にも施設の安定燃焼のための一酸化炭素基準等の配慮項目もございます。 ②どの施設を整備するかによって、必要となる敷地面積は変わってきます。この資料で紹介するような施設をイメージしながら不足のないよう用地選定を行うということです。 ③整理して後日回答させていただきます。なお、参考として、いいしクリーンセンターに設置する最終処分場も小規模で	

第1回 次期一般廃棄物処理施設用地選定検討委員会
議事要旨

協議内容	協議結果・指示事項等
<p>(2) 用地選定に係る3市町での検討状況</p> <p>① 3市町で広域整備をめざすこととなった経緯</p>	<p>すが、クローズド型です。</p> <p>(後日回答分)</p> <p>令和3年度における自治体所有の一般廃棄物最終処分場(埋立終了、建設中を含む)は次のとおり。</p> <p>設置数1,603施設に対し、被覆型は93施設(5.80%)</p> <p>平成23年度のデータは次のとおり。</p> <p>設置数1,819施設に対し、被覆型は67施設(3.68%)</p> <p>10年間で26施設(2.12ポイント)増となっています。</p> <p>事務局より</p> <p>資料4「次期一般廃棄物(ごみ)処理施設広域化検討の過程」について説明</p> <p>【質疑】</p> <p>①用地選定後、施設建設後は現有の施設はどうされるのでしょうか。</p> <p>②最終処分場の供用開始時期も令和14年度を予定しておられますか。</p> <p>③最終処分場の想定供用期間はどれくらいでしょうか。</p> <p>【回答】</p> <p>①利用を継続する施設、廃止する施設があると想定していますが、まだ確定はしておりません。</p> <p>②雲南圏域にある4つの最終処分場はいずれも受入容量に達しつつある状態です。可能であれば最終処分場の整備を先行して行っていきたい考えです。</p> <p>③15～20年程度です。</p>
<p>②用地選定に係る検討状況</p>	<p>事務局より</p> <p>資料5「用地選定に係る評価の視点」について説明。</p> <p>【質疑】</p> <p>①評価基準に基づく評価点が最も高く、かつ地元の合意が得られたところが候補地として選定されるのでしょうか。</p> <p>②候補地の公募は行われますか。</p> <p>③地元との合意形成が大事という話ですが、そのためには情報公開や情報提供が必要となります。どういう形で地元、その他住民、議会に合意形成を行っていくのかの認識を1つにしていけないといけないと思います。</p>

第1回 次期一般廃棄物処理施設用地選定検討委員会
議 事 要 旨

協議内容	協議結果・指示事項等
	<p>④本検討委員会においての最終的なまとめとして、1か所の候補地を最適地として導き出すのでしょうか。</p> <p>⑤評価項目に、地元合意の可能性を入れられるのでしょうか。</p> <p>⑥全国的な傾向として一般廃棄物の処理施設は、まだまだ住民にとって受け入れがたいものであるのでしょうか。</p> <p>⑦評価の視点として水道接続に係る項目がありますが、冷却水には河川水は使用できませんか。</p> <p>⑧現行施設は老朽化しており、次期施設整備に向けた調整が急がれます。用地選定はいつ頃までに完了しなければなりませんか。</p> <p>【回答】</p> <p>①それが最良ですが、両方を満たすことは難しいかもしれません。評価基準を基に適正候補地を絞り込みますが、最終的には住民合意を得られることが大前提であると考えます。</p> <p>②候補地の公募は考えていません。本検討委員会での意見も参考にさせていただき、3市町で候補地を絞り込んだ段階で、直接地元等と交渉を行っていきたいと思っています。</p> <p>③事務局で整理し、本検討委員会でも資料を提示させていただきます。</p> <p>④最終的な判断は3市町で行うべきと考えます。その過程の中で、本検討委員会でもご意見をいただきながら、評価基準に照らして、適正な候補地を2、3件程度に絞り込んでいきたいと考えています。</p> <p>⑤評価項目として取り入れるというよりは、一定程度の絞り込みを行った後、最終決定の際の判断材料として取り扱っていくこととなる考えます。</p> <p>⑥あくまで感覚的な回答となってしまいますが、「受け入れ難い」という地域もございます。こうした場合は、山中など人目に付きにくい場所に建設されています。一方で、町中に施設を作り、災害時の防災拠点として活用したり、住民の憩いの場にしたりする自治体もございます。</p> <p>⑦一番安定して水を供給できるのが水道です。ただし、河川水や井戸水等でも対応することは可能です。水道が確保できない場合、代替策を探ることになります。</p> <p>⑧全てがうまくいった場合の最短の計画として、新施設の稼働は令和14年度を予定しています。ここから逆算すると、来年度中には地元合意が必要と考えています。今年度で候補地</p>

第1回 次期一般廃棄物処理施設用地選定検討委員会
議 事 要 旨

協議内容	協議結果・指示事項等
	<p>を絞り込み、来年度の早期より地元交渉を進める流れが最良だと考えています。</p> <p>【意見】</p> <p>①地元合意を得ることが最も重要だと考えます。地元からの要望にどれほど応えるか。腹を据えて住民と向き合い、話し合いを続ける必要があると思います。</p> <p>②用地に関しては将来的に何年も耐えきれられるような、出来得る限り広い場所がいいのではないかと思います。</p> <p>③雲南は文化財、森林保護の意識が高いのではと感じてきます。評価基準作成の際には、これらの項目も必要かと思えます。</p> <p>④一般廃棄物処理施設について技術革新が進んでおり、より安全なものになったというPRを行い住民理解に努めていく必要があります。山中などの遠い場所に建設にしても、運搬コストの問題等も懸念されます。</p>
6. その他	<p>事務局より 委員報酬等の支払い、次回会議の日程調整等について連絡</p>

以 上